

哲學研究

第貳卷 第參冊

第十二號

大正六年三月一日發行

倫理上の見地より觀たる所謂社會防衛説……………	文學博士 藤井健治郎
宗教的規範意識……………	文學士 赤松智城
個人的差異に因由する學校組織の新運動……………	
と將來の學校組織(完結)……………	文學士 田中廣吉
美學の基礎に就ての考察(承前)……………	文學博士 深田康算
彙報……………	
新著紹介……………	

京都帝國大學文學科大學內

京都哲學會

京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文科大學内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名) 京都帝國大學文科大學哲學科教官及委員會

ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得

學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スル

コトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年貳圓貳拾錢、前後二期ニ分チテ前納ス

ベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲

學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學士	中川得立
文學士	植田壽藏
文學士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學士	深田武
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
寶嚴方治	

書記

物語る『滑稽が深さを益すに従ひその背後には沈痛な嚴肅なものが潜むやうになる』と言ふ其笑ひ、人生の表裏を見透した笑、慈悲の笑神の笑を宿した笑は、實にこの意味この段階の有情滑稽を考へて初めて明晰に會得する事が出来來ると思ふからである。

○フモオルの本質中に崇高の要素を見る事は、反言すれば、フモオルを崇高の變化した一つの相と見る事は、之れに觸れない如何なる千萬語よりも端的に、フモオルの尊き意味を把へしめるであらう。崇高と言ふのは人間性の理想の姿を意味するからである。

東京日本橋區本石町寶文館發行。菊版三七九頁。壹圓五十錢。(植田壽藏)

寄贈書籍雜誌

自我論

文學士 紀平正美 著

東京神田區表神保町 大同館

文學に現笑の研究
れたる笑の研究

文學士 成瀬無極 著

東京日本橋區本石町 寶文館

英語原書の讀み方

榎本 恒太郎 編

東京本郷區駒込動坂町 元文社

ある青年の夢

武者小路實篤著

東京麴町區平河町 洛陽堂

新藝術論

文學士

クライブ・ベル著
鈴木禎二譯

東京神田區南神保町 岩坂書店

智能の遺傳

村瀬雄平著

心理學 研究會

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、六合雜誌、東洋哲學、東亞之光、六條學報、早稻田文學、第三帝國、白樺、内外教育評

論、普通教育、小學研究、教育研究、教育學術界、東京教育、兵庫教育、奈良縣教育、静岡縣教育、滋賀縣教育會雜誌、岐阜縣教育、三重縣教育、愛知縣教育雜誌、長崎縣教育會雜誌、都市教育、信濃教育、藝備教育、宮城教育、佐賀縣教育、愛媛教育、道乃友

正誤

○探究の態度と安立の態度(第十號所載)

頁	行	誤	正
五〇	八	衝突し	衝突して
五一	九	stabytle	stability
五五	四	通した	通して
五六	八	盲目	盲者
五七	一〇	誤も	誤を
五九	終三	外界から	外界に
六〇	終六	ここらと	こちらと探つて見て、
六七	四	見ると	見ると、所謂の絶待の信仰と雖も

○前一二七頁キツドの條初行米國は英國の誤

註文規

- 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は寶文館へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候
- 振替貯金にて御送金は(東京二八〇番)寶文館宛に願上候
- 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章押捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- 見本御入用の場合は金貳拾錢御送り下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券三錢御送付下され度候

廣告料

一頁 金拾圓 半頁 金六圓

定價

冊數	定價	借	郵	稅
一冊	金貳拾錢	金壹	中	受
六冊(前金)	金壹圓貳拾錢	不	中	受
十二冊(前金)	金貳圓四拾錢	不	中	受

會告

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候
 - 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候
 - 一、會費ハ振替口座大阪麥〇六六參番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 - 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候
- 京都帝國大學 文科大學內 京都哲學會
振替口座大阪麥〇六六參番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、上田屋 (大阪) 盛文館 (京都) 寶文館 (神戸) 寶文館

發賣元

東京市日本橋區本石町三丁目 寶文館
大阪市東區淡路町四丁目

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目 (振替口座東京二八〇番) 寶文館



編輯者 京都帝國大學文科大學內 京都哲學會
右代表者 寶嚴方治
發行者 大葉久吉
印刷者 青柳十一郎
印刷所 秀英舎第一工場

大正六年 二月二十八日印刷納本
大正六年 三月一日發 行

第十二號 第三卷